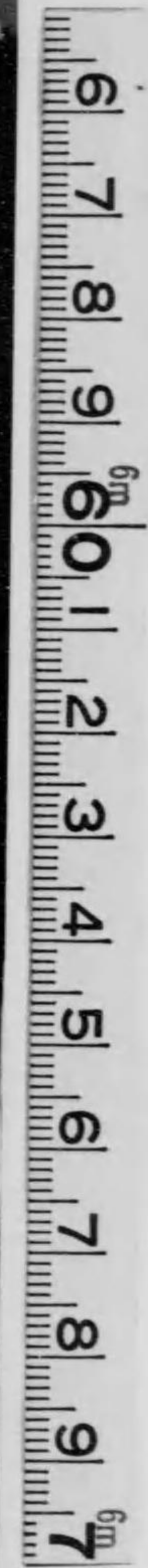


R0162
SA24

大正十二年四月一十三年五月
埼玉圖書館概要



始



R
016.2
SA24

自大正十二年四月
至大正十三年三月

埼玉圖書館概要

埼玉圖書館概要

(自大正十二年四月
至大正十三年三月)

一、創立	一頁
二、館舍	一頁
三、特色	一頁
四、經費	二頁
五、圖書分類並藏書	二頁
六、閱覽成績	三頁
(一) 閱覽人員表	四頁
(二) 閱覽人職業別表	五頁
(三) 分類別閱覽圖書冊數	五頁
七、讀書之傾向	六頁
八、圖書之寄贈	九頁
九、社會的教育施設	一一頁

(附錄)

一、文部省認定濟通俗圖書目錄	一一頁
二、文部省選定青年團處女會文庫目錄	二八頁
三、本縣選定社會教育圖書目錄	三八頁

大正
13. 6. 25
寄贈

寄贈本

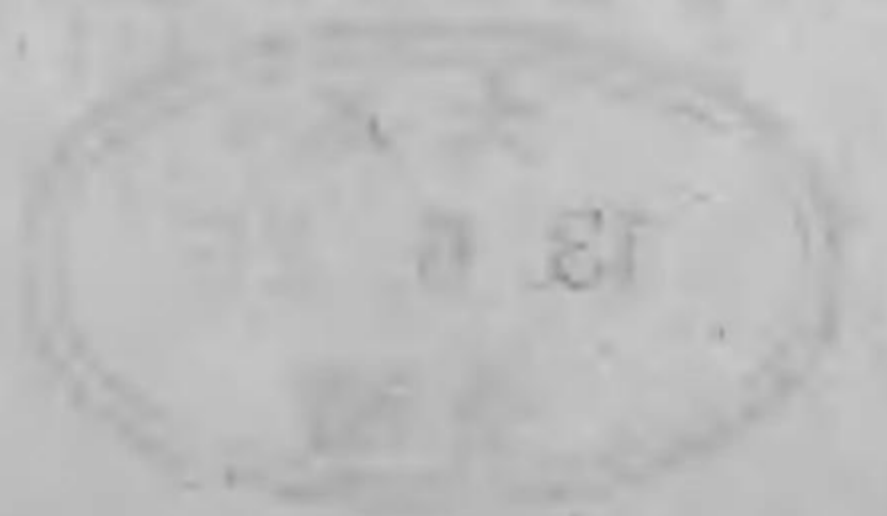
二

四、縣下公私立圖書館一覽……………五二

五、縣下各郡市別公私立圖書館數一覽……………五八

六、縣下各郡市別公私立圖書館諸統計表……………五九

七、縣下各郡市別文庫ニ關スル調査表……………六一



本館蔵書

埼玉圖書館概要

一、創立

本館ハ本縣中央圖書館トシテ、普通百科ノ圖書ヲ選擇蒐集シ、公衆ノ閱覽ニ供シ、兼テ社會教育ニ資スルノ目的ヲ以テ、大正十年十一月開會ノ本縣縣會ガ、一萬五千圓ノ補助金ヲ提供シ、本縣教育會ヲシテ其經營ニ當ラシムルコトヲ決議セルニ起原ス

此ノ決議ニ基キ、本縣教育會ニテハ、大正十一年五月ニ館長ヲ、次デ六月ニハ基本圖書選定委員十四名ヲ囑託シ、縣廳内ノ一部ニ於テ、圖書購入其ノ他開館ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシメ、其ノ準備ノ進捗スルヲ俟テ北足立郡役所構内ナル縣有建物、北足立郡工區員出張所内ニ引移リ、同年十月一日開館即日ヨリ閱覽ヲ開始セリ

館 舍

館舍ハ奥行四間半、間口十間半、總坪數四十七坪二五ヨリ成リ、内部ヲ分チテ、閱覽室(十八坪)書庫及貸出室(十坪七五)兒童閱覽室及事務室(九坪)昇降室(五坪)館丁室(四坪半)ノ五室ヲ設ク、閱覽室ハ一時ニ男子三十八人、婦人六人、兒童閱覽室ハ三十八人、合計八十二人ヲ收容スルコトヲ得

三、特色

278-77

本館ノ閱覽方法ハ、館内館外貸出共一切無料タルハ勿論、入館者ヲシテ書庫ニ入り直接書架ニ就キテ自由ニ圖書ノ檢索ヲ得セシムル組織ナリ、此ノ方法ハ、近來歐米特ニ米國ニ於テ盛ニ唱道セラレ、所謂「オープン、アクセス」ト稱スル最新式ノモノニシテ、專ラ閱覽人ノ便宜ヲ第一トセリ從テ開館以來常ニ好成績ヲ示シ、滿員ノ盛況ヲ見ルコト少カラズ

四、經費

創立以來兩年度ノ經費豫算額左ノ如シ

年度	科目	俸給	雜給	圖書費	其他	合計
大正十一年度		八三〇 <small>円</small>	七七六 <small>円</small>	一一、〇六五 <small>円</small>	二、三二九	一五、〇〇〇 <small>円</small>
大正十二年度		一、七二〇	一、六六一	四、五五五	二、三六五	一〇、三〇一

五、圖書分類並藏書

本館ノ圖書分類ハ本體ヲ「デュウイ」氏ノ十進分類法則ニ則リ、之ニ帝國圖書館流ノ細目順位等ヲ參考シ編成セルモノニシテ目今全國主要圖書館ノ多數ガ採用セル様式ト殆ンド一致スルモノナリ、今左ニ分類別ヨリ觀タル本館ノ藏書ヲ示セバ

〇〇〇 總記	二四四冊	一〇〇 宗教、哲學	四二三冊
二〇〇 教育、修養	三六九冊	三〇〇 文學、語學	一七六一冊

四〇〇 歴史、地理	六四〇冊	五〇〇 法制、經濟、社會	四六八冊
六〇〇 理學、醫學	四一六冊	七〇〇 工學、通信、兵事	一四三冊
八〇〇 美術、諸藝	一八四冊	九〇〇 産業、家事	二七二冊
兒童用	八四五冊	合計	五七六五冊

備付定期刊行物左ノ如シ

〔新聞〕時事、萬朝、朝日、埼玉、讀賣、國民（以上寄贈）

やまと、報知、東京日々、中央、埼玉朝日（以上購入）

〔雜誌〕

幼年の友、幼年畫報、幼女畫報、幼女の友、コドモノクニ、日本少年、童話、赤い鳥、少年世界、少女畫報、少女世界、金の星、婦人世界、婦女界、婦人公論、中學世界、青年帝國青年、受験と學生、層雲、文章俱樂部、新小説、中央公論、改造、太陽、現代、表現、實業之日本、週間朝日、内外教育評論、帝國教育、丁酉倫理講演集、ABC、中等英語、英語研究、ジャパンタイムス、寫真通信、講談俱樂部、演藝畫報、科學知識、農業世界（以上購入）

埼玉產業界、埼玉青年、埼玉及埼玉人、ローマ字世界、海外經濟彙報、時兆、新農民、寫真月報、燃料研究（以上寄贈）

六、閱覽成績

本年度内ノ開館日數ハ三百十二日ニシテ一般閱覽人員五萬四千九百六十五人（内新聞雜誌閱覽人一萬四千三十六人）兒童閱覽人員八千二百二人ナリ、而シテ一般閱覽人ノ閱覽圖書冊數ハ四萬九千七十冊ニ

達シ、一日平均入館數ハ一般閱覽人百七十六人二分、兒童閱覽人二十六人計二百二人一分ナリ

(い) 閱覽人員表

月別	開館日數	一般閱覽人			計	兒童	總計	備考
		館内	携出	出				
一月	二四	二五〇三	二五三	一五八六	二二八	四四七〇	五二四	四九九四
十二月	二五	二四七三	二五三	一五四一	九二	四三九九	五一〇	四八六九
十一月	二九	三五八三	二九七	二二〇六	一三五	六二二一	四八九	六七一〇
十月	三二	三〇三三	一八二	五六八	四一	三八二四	五五一	四三七五
九月	一九	二二四九	二二五	一一三三	七〇	三四六七	四五七	三九二四
八月	二九	一九二七	一八五	一四二六	一一三	三六四一	八六九	四五一〇
七月	三〇	二八四八	二九二	一六七五	一〇四	四九一九	一〇六四	五九八三
六月	二九	三〇七三	四三三	一七九一	九七	五三九四	七七九	六一七三
五月	三〇	三六二二	二三三	一三九〇	九三	五三二七	八九八	六六二五
四月	二九	三〇二一	二六四	一九五九	一四一	五三七五	八六〇	六三三五
備考								九日ヨリ十八日迄携出停止

(ろ) 閱覽人職業別表

月別	開館日數	學生	農工商	官公吏	教員記者	宗教家	雜業	無職	計	兒童	合計
二月	二七	二七	三二八四	二三六	一六八七	八六	五二九三	五二三	五八一六		
三月	一九	一九	二四七九	一九六	—	—	二六七五	五七八	三二五三		
合計	三二二	三二二	三三九六五	二九四八	一六九五二	—	一一〇〇	五四九六五	八一〇二	六三〇六七	
平均	二六	二六	二八三〇・四	二四五七	一四二二七	九一七	四五八〇・四	六七五・二	五二五五・六		

(は) 分類別閱覽圖書冊數

分類	總記	館内			提出	冊數	合計	閱覽順位
		館内	携出	出				
學生	二七、八七九	一、一三五	二、二八六	一、〇八七	二、二七四	三、一九一四	八、一〇二	四五、〇一六
農工商	一一、七三〇	一、一四〇	二、四一八	八三三	七四二	一八、〇五一	—	一八、〇五一
官公吏	三九、六〇九	三、二七五	四、七〇四	一、九一九	二、四八二	三、〇一六	五四、九六五	八、一〇二
教員記者	—	—	—	—	—	—	—	—
宗教家	—	—	—	—	—	—	—	—
雜業	—	—	—	—	—	—	—	—
無職	—	—	—	—	—	—	—	—
兒童	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	一二六・九	一〇・五	一五・一	六・二	九・七	一七六・二	二六・〇	二〇二・一
一日平均	—	—	—	—	—	—	—	—

一〇〇	宗教哲學	一二九〇	七五八	二〇四一	六
二〇〇	教育、禮儀、作法	一五四四	七八三	二二二七	五
三〇〇	文學、語學	一六九七七	一〇九九九	二七九六六	一
四〇〇	歷史、地理	三三六三	一四二四	四六八七	三
五〇〇	法制、社會	一七八七	八一三	二六〇〇	四
六〇〇	數學、理學	三〇二〇	一七二三	四七三三	二
七〇〇	工學、通信	七七二	三二四	一〇八五	九
八〇〇	美術、諸藝	一〇六七	四二八	一四九五	七
九〇〇	産業、家事	八二六	四四二	一二六八	八
計		三二〇一八	一八〇五二	四九〇七〇	

七、讀書ノ傾向

本年度一般閱覽人讀書ノ傾向ヲ見ルニ閱覽特ニ夥シカリシハ
 第一位 文學、語學 第二位 科學 第三位 歴史、地理 第四位 法制、經濟、社會
 ニ關スル著述ナリ而シテ第一位中ニアリテモ閱覽殊ニ盛ナリシハ宗教又ハ哲學的ノ内容ヲ有スル創作

類及ビ清新ナル喜劇諷刺物ノ類ナリ
 科學ノ第二位ニアルハ多クハ學生ノ教科參考用トシテ閲讀セルモノニシテ眞面目ナルノ研究多ク第三位ノ歴史地理中ニハ紀行傳記等娛樂的ノモノ多ク歡迎セラレタリ經濟社會關係圖書ノ急速ナル閱覽増加率ヲ示セルハ時代思想ノ端的ニ反映セルモノト見ルヲ得ベク、今左ニ本年度内ニ於テ特ニ受讀セラレタル書名ヲ舉グレバ

書名	著譯者	書名	著譯者
哀傷は賢人の母なり	(豐) 田	どこか實のある話	(岡) 本
嘘の効用	(末) 廣	神様の戸籍調べ	(二) 西 洞
改造思想十二講	(宮) 島	アインシュタイン要約	(學) 術 協 會
倫理學の根本問題	(阿) 倍	八大教育主張	(赤) 井
プロセクトメントの理論と實際	(市) 川	兒童大學の實際	(田) 淵
ダルトン教育の研究	(吉) 田	師父に弓ひくもの	(松) 濤
哲學から教育へ	(川) 合	全我活動の教育	(石) 井
公民教育の研究	(伊) 岡	愛と女性を中心として	(藤) 森
笑話の泉	(厨) 藤	藝術を生む心	(久) 田
象牙の塔を出でよ	(内) 川	三筋町より	(藤) 村
徒然草詳解	(高) 海	上方文學と江戸文學	(夏) 目
創作と其人々	(上) 木	漱石全集	(江) 原
東 京	(中) 司	復 活	(賀) 川
大菩薩峠	(中) 里	太陽を射るもの	

曾我廼家五郎喜劇
浪六全集
花袋全集
ぐうたら道中記
歡樂の太子
太陽の沈み行く時
水手平
日本文化史
明治裏面史
攝政宮御生立の記
江戸と上方
二人行脚
東海道五十三次
近代無類腰栗毛
武藏野めぐり
理想の村
法窓夜話
マルクス資本論解説
現代人の生活

(曾我廼家)
(村上)
(田山)
(佐々木)
(江部)
(古手川)
(大鐙閣)
(伊藤)
(寺田)
(笹川)
(日下部)
(芳賀)
(小原)
(横山)
(石田)
(穂積)
(高島)
(寺田)

日蓮珍話
菊地寛全集
水戸黄門
超人日蓮
半七捕物帳
孔子と其徒
新珠
日本武藏の巻
傳記
大西郷と大久保
震災ロコンス
大楠公夫人
鐵道旅行案内
三都見物
東京起點名所二三日
時事憲法問題批判
法律の知識
民法總論
經濟危機と恢復
特殊落部の解放

(羽場)
(菊池)
(碧琉璃園)
(藤井)
(岡本)
(安藤)
(菊池)
(其刊行會)
(高橋)
(荒野)
(高橋)
(鐵道省)
(生方)
(大村)
(美濃部)
(渡部)
(穂積)
(福田)
(岡本)

兩性問題大觀
犯罪と探偵
美術問題解説
代數の學ひ方解き方
自然科學十講
曆講話
動物と人生
家庭醫學
安産と育兒
ロダンの藝術
自由畫教育
趣味の寫眞
テニース
兎を家庭へ
西洋草花
英文法講義
辭林

(島村)
(小酒井)
(金澤)
(藤森)
(大町)
(小澤)
(宮崎)
(糸崎)
(吉岡)
(森岡)
(山本)
(三宅)
(熊谷)
(一條)
(康樂園)
(山岡)
(金山澤)

女中奉公女工生活
奇態流行史
代數の學び方初歩
世界の終り
物理學問題詳解
近世化學講義
植物學講義
臨牀醫典
書畫骨董明旨
風景畫を描く人
藝術寫眞の研究
陸上競技の研究
バットの響
チランの拵へ方
和文英譯詳解
時事年鑑
大字典

(賀川)
(宮武)
(藤森)
(石井)
(川邊)
(塚本)
(齋田)
(筒井)
(足立)
(鍋井)
(鍋井)
(寺田)
(安部)
(清水)
(紀太)
(時事)
(上田外四人)

八、圖書ノ寄贈

左ノ各位ハ大正十二年四月ヨリ十三年三月迄ノ間ニ於テ圖書報告雜誌新聞等ヲ本館へ寄贈セラレタリ
茲ニ芳名ヲ列記シテ深ク感謝ノ意ヲ表ス(次第不同)

時事新報浦和支局	萬朝報浦和支局	讀賣新聞浦和支局
國民新聞浦和支局	東京朝日新聞浦和支局	埼玉新聞社
埼玉縣同業組合聯合會	埼玉及埼玉人社	帝國修養會
北埼玉郡役所	秩父郡役所	入間郡行政事務會
評論社	群鷺會	燃料協會
日本ノローマ字社	中島海氏	前橋圖書館
松本秋三氏	川越公友會	こども新聞社浦和支局
埼玉青年社	末世の福音社	野本英治氏
關口絢介氏	赤壁吟社	日比谷圖書館
力の浦和社	生活社	倉田八十八氏
我が聲浦和支社	埼玉縣	新國寅彦氏
千代倉永三氏	松倉慶三郎氏	榎葉勇氏
やまと通信社	川越高等女學校	繁田武平氏
川上榮三氏	日本銀行調査課	高野保平氏
文部省普通學務局	關根綱雄氏	浦和高等學校
浦和郵便局	綠川祿氏	平野坦氏
森山銳一氏	寫真日報社	稻田春治氏

上田作雄氏	早川三郎氏	赤松寬美氏
久保田豐冬氏	荒井三治氏	忍教育支會
細田稔氏	古橋龜二郎氏	宮崎泰男氏
新潟縣立圖書館	谷口政足氏	松本宇一氏
成澤潤藏氏	孝女伊麻舊蹟保存會	香坂昌康氏
大崎範一氏	鹽俊太郎氏	新井堅一郎氏
德島縣光慶圖書館	寺南精一氏	西本願寺臨時救濟事務所
時原松三郎氏	萩原一茂氏	加藤さだよ氏
北足立郡役所	名古屋圖書館	京都圖書館
埼玉師範共攻會	神宮皇學館	少年團日本聯盟
熊谷高等女學校	宮內純氏	本谷暢音氏

九、社會教育的施設

- 一、五月六日浦和公會堂ニ於テ東京神保院長鈴木篤三郎、曹洞大學生遠藤初一雨氏ヲ聘シ子供會ヲ開ク
- 一、六月十日日本縣小學校長會議ノ開催セラレヤ實業補習教育ニ關スル參考書ヲ陳列シ會員ノ閱覽ニ供ス
- 一、七月十三日本縣主催ノ圖書館長會議ノ開カル、ニ際シ、圖書館經營書籍、文部省選定青年處女會備付書物等ヲ陳列シ其參考ニ供シタル外出席ノ各館長ニ參觀ヲ乞ヒ、館ノ經營ニ就キ懇談ヲ遂ゲタ

リ

- 一、八月中本縣教育會主催ノ臨海大學及本縣主催青年團幹部講習會秩父郡青年團主催同會ニ對シ各々參考書ヲ送附シテ閱覽ニ供ス
 - 一、十月三十一日浦和劇場ニ於テ、大塚講話會ノ樫葉勇氏熊谷小學校ノ田村宗順氏ヲ聘シ子供會開催
 - 一、十二月下旬浦和小學校ニ開催サレタル北足立郡主催ノ服裝展觀會ニ參考書ヲ出品ス
 - 右ノ外前後數回ニ亘リテ、町内及縣下小學校生徒及南洋トラツク島兒童ノ製作品、香坂内務部長ノ歐州土産品及各種ボスター等ニ就キ各展觀會ヲ開キ一般公衆ノ閱覽ニ供シ何レモ相當ノ効果ヲ收ム、又八月中浦和小學校々庭ニ於テ臨時ニ林間圖書館ヲ設ケ兒童ニ閱覽セシメタリ
- (備考) 附近町村ニ對スル林間圖書館ノ開館巡回文庫ノ經營竝文化講演會開催ノ豫定ナリシモ大震災突發ノ爲其實現ヲ見ザリシハ遺憾トスルトコロナリ

一、文部省認定通俗圖書目錄

(自大正六年
至大正十二年)

第一 教訓及教育

書名	著者名	發行年月	發行所	定價
現代人の眞生活	田子一民	二、五	帝國地方行政學會	一、六〇
新らしき村を造るまで	石田傳吉	二、六	帝國地方行政學會	六〇
修養名士より青年へ	木村三樹	二、四	泰文堂	二、八〇
國民改善講話	足立栗園	二、一	富田文陽堂	一、五〇
世論明治大帝と我國民性	望月小太郎	二、三	英文通信社	一、〇〇
日新不斷心の糧	大町桂月	八、一	帝國實業學會	四、〇〇
娘に與へたる父の書簡	堀内新泉	八、九	止善堂	一、二〇
明治天皇聖德奉頌講演集	渡邊爲藏	一〇、二	民友社	一、七〇

修養寶鑑	明治兩陛下聖德記	末松謙澄	八五	博文館	一〇〇
東京の苦學生	出口競	二二	大明堂	一〇〇	一〇〇
東京遊學案内	出口競	二二	大明堂	一〇〇	一〇〇
新報	佐々井信太郎	七二〇	中央報德會	一五〇	一五〇
青年の進路	遠藤隆吉	八二	國民書院	九〇	九〇
筆供養	大町桂月	七四	富山房	七〇	七〇
工女の修養	大日本國民教育會	七〇	大日本國民教育會	三五	三五
向上論	尾崎行雄	六五	國民書院	八〇	八〇
使ふ人使はるる人	棟居喜久馬	六九	丁未出版社	八〇	八〇
報德處世修養新話	井口丑二	六八	中央報德會	七〇	七〇
現代名家通俗講演集	通俗教育會	六一	明治出版協會	一三〇	一三〇
現代と偉人	仲小路廉	六四	大倉書店	一三〇	一三〇
安全第一	内田嘉吉	六九	丁未出版社	三〇	三〇

田舎草紙	山崎延吉	八〇	中央報德會	三〇
大正女子の新修養	樋口紋太	六二	大阪南區北炭屋町岡本増次郎	五〇
農村小話	山崎延吉	五七	中央報德會	二〇
久堅町にて	安井哲子	四六	警醒社	一五〇
二宮翁金言集	井口丑二	四四	中央報德會	二五
家庭復習説諭の方法仕方	加藤末吉	一〇四	實業之日本社	一五〇
兄弟喧嘩を少くする工夫、叱り方、ほめ方	加藤末吉	一〇三	實業之日本社	一五〇
子供を順良にする工夫、お守の仕方	加藤末吉	一〇六	實業之日本社	一五〇
愛兒のしつけ方	加藤末吉	九二	實業之日本社	一五〇
十ヶ年間實地研究したる處女會及婦人會	岩崎久馬吉	九八	尙文堂	一五〇
實業補習學校と公民教育	田澤義鋪	九〇	中央報德會	三〇
創作な手工科教材掛圖	藤五代策	九七	德育館	二〇〇
家庭教育百話	自學獎勵會	八二	隆文館	二〇〇

民 育 雜 話	村田宇一郎	八、〇	中 央 報 德 會	三〇
伊藤仁齋と其教育	增 澤 淑	八、二	明 治 出 版 株 式 會 社	一、〇〇
國民立憲國體示教掛圖	內 田 德 彦	七、二	造 畫 館	一四、五〇
世 渡 の 修 養	澁 澤 榮 一	七、五	東 盛 堂	一、五〇
讀物の趣味と其方法	平 井 晚 村	七、八	國 民 書 院	七〇

第二 哲學及宗教

子 活 論	安達大壽計	二、二	宜 傳 社	二、〇〇
思想善導の基準	增 田 義 一	一〇、九	實 業 之 日 本 社	一、五〇
公 民 道 德	大 島 正 德	九、六	佐 藤 幹 枝	一、〇〇
元田先生進講錄	德 富 猪 一 郎	九、三	民 友 社	一、五〇
增普通作法精義	錦 織 竹 香	九、三	六 盟 館	五、〇〇
國民の精神的基礎	加 藤 咄 堂	八、二	大 倉 書 店	一、六〇

時 代 と 報 德	井 口 丑 二	八、六	中 央 報 德 會	九〇
報 德 清 談	井 口 丑 二	八、七	中 央 報 德 會	七〇
實 業 道 德 講 話	中 島 力 造	七、二	富 田 文 陽 堂	九〇
國 民 道 德 教 科 書	芳 賀 矢 一	七、二	富 山 房	各 四二
婦 人 の 覺 醒	山 崎 延 吉	七、二	中 央 報 德 會	一、五
家 庭 讀 本 作 法 の 卷	家 庭 讀 物 改 良 會	七、〇	家 庭 讀 物 改 良 會	五〇
道 の 話	南 條 文 雄	三、二	丁 未 出 版 社	一、〇〇
佛 典 物 語	大 澤 玄 章	二、〇	森 江 書 店	一、八〇
平 和 的 宗 教	村 上 專 精	一、五	森 江 書 店	五〇
聖 德 太 子 の 信 仰	吉 田 修 天	一、七	森 江 書 店	五〇
御 詠 歌 新 講 話	稻 村 修 道	一、四	我 等 の 世 界 社	二、五〇
淨 土 三 部 經 和 讚 講 話	柏 原 祐 義	一、七	森 江 書 店	二、〇〇
弘 法 大 師 傳	小 野 道 太	一、六	森 江 書 店	一、〇〇

遠羅天	白隱禪師法語錄	真人生と信仰	人生と信	信に生きた人	原文對照和譯淨土三部經	禪學問答活殺自在	文化の權威	口語全譯淨土三部經	現代生活と禪	禪の要諦	明治神宮御寫眞帖	妙法蓮華經
白隱禪師	森江英二	富士川遊	近角常觀	藤井敦誨	伊藤精次	原田祖岳	椎尾辨匡	江部鳴村	日置默仙	秋野孝道	大日本國民教育會	江部鳴村
一一三	一一三	一〇、二〇	一〇、五	一〇、一	一〇、八	九、三	九、七	九、七	九、二	九、七	九、二	八、二
森江	森江	森江	森江	森江	日本佛教研究會	隆	隆	隆	隆	隆	大日本國民教育會	隆
江書店	江書店	江書店	江書店	江書店	會	會	會	會	會	會	會	會
四〇	七〇	一、二〇	七〇	五〇	三、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、五〇	二、〇〇	三、五〇	四、五〇

第三 文學

悟道の妙味	高階瓊仙	神社參拜の眞義	目黒和二郎	舊約こども聖書	芦谷重常	禪の理想と新人生の曙光	忽滑谷快天	兄弟と妹	茅野エンバツハ作	人の御詠註	長谷川一郎	森の祈り	沖野岩三郎	傑作を出した人々	野邊地天馬	趣味の實のある話	横尾眞琴	世界一週飛行	高瀬毅譯
一、八〇	八、二	七、二	七、二	七、二	七、二	一〇、六	一〇、七	一〇、七	一〇、七	一〇、五	一〇、六	一〇、一〇	一〇、一〇	一〇、一	一〇、一	一〇、六	一〇、六	一〇、六	一〇、六
隆文會館	聖訓奉旨會	警醒社	警醒社	警醒社	警醒社	家庭讀物刊行會	家庭讀物刊行會	家庭讀物刊行會	家庭讀物刊行會	飯村昌榮堂	飯村昌榮堂	創文社	創文社	丁未出版社	丁未出版社	敬文館	敬文館	日本評論社	日本評論社
一、八〇	非賣品	一、七〇	一、七〇	一、四〇	一、四〇	二、五〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	二、五〇	二、五〇	一、五〇	一、五〇	一、八〇	一、八〇	一、〇〇	一、〇〇	二、〇〇	二、〇〇

桔梗の朝露	渡邊庸三	二〇、二	實業之日本社	一、八〇
黄金の星	福田正夫	一〇、七	創文社	一、三〇
家の無い子	補山正雄	一〇、六	精華書院	二、五〇
地に跡を印した人々	別所梅之助	一〇、五	警醒社	三、〇〇
ハ イ	野上彌生子	九、二	家庭讀物刊行會	非賣品
ク オ	アミチス	九、六	家庭讀物刊行會	非賣品
可 憐 兒	前田晃	九、一	家庭讀物刊行會	三、二八
西洋妖怪傳説	八木さわ子	九、二	國民書院	一、二〇
クリスマスカロール	蘆谷蘆村	九、八	家庭讀物刊行會	三、五〇
備める露西亞	中島孤島	九、五	弘道館	二、五〇
僕には娶る妻がない	池島こぎく	九、五	弘道館	一、五〇
世界第二篇 魔法比べ	井上芳子	九、二	家庭讀物刊行會	一、三〇
ふるさど	島崎藤村	九、二	實業之日本社	一、三〇

雪中の三ヶ月 (フエネロン物語)	秋田雨雀	九、一	家庭讀物刊行會	非賣品
童話集 人魚のねがひ	蘆谷蘆村	九、二	警醒社	一、五〇
不思議の國	楠山正雄	六、三	家庭讀物刊行會	非賣品
利口な驢馬の物語	セギユール夫人	九、九	警醒社	二、五〇
世界第一篇 驢馬の皮	本野久子	九、一	家庭讀物刊行會	一、三〇
ろしあ童話集	楠山正雄	八、六	大倉書店	一、八〇
歴史小説 文庫鏡山物語	昇曙夢	八、一	國民書院	五、五
歴史小説 文庫五郎正宗	平井駒次郎	八、一	國民書院	五、五
父	平井駒次郎	八、一	國民書院	五、五
秘密の庭	座子愛子	八、一	警醒社	一、五〇
トルストイ物語	田中純	八、一	家庭讀物刊行會	非賣品
ガリツア旅行記	昇曙夢	八、八	家庭讀物刊行會	非賣品
希臘英雄譚	中村洋一	三、九	國民書院	一、八〇
	中島孤島	八、二	家庭讀物刊行會	非賣品

歐洲大戰美談	奧寺龍溪	七、四	中央報德會	七五
ろしあお伽集	昇曙夢	七、〇	大倉書店	一、八〇
増訂連句入門	初山仁三郎	六、一	俳書堂	五〇
武藏野の一角にたちて	別所梅之助	四、二	警醒社	二、二〇
ユイモアア	マク、トウエン	五、九	丁未出版社	一、〇〇
青蘆集	徳富健次郎	三、五、八	民友社	四五
自然と人生	徳富健次郎	三、三、八	民友社	五〇
青山白雪	徳富健次郎	三、一、三	民友社	四五
新らしき用語の泉	小林花眠	一〇、二	博進館	三、九〇
ローマ字読み方	田中丸卓郎	一、三	日本ロイマ字社	一五
お伽嘶嘶不思議な場	田丸卓郎	九、四	國民書院	八五

第四 語 學

ローマ字獨げいこ	田中丸卓郎	二、九	日本ロイマ字社	三〇
模範女子消息文資料と美文	豊山逸人	九、二	國華堂書店	七〇
同訓異議漢字用法	綾部虎次郎	八、二	國民書院	八五
解説女子書簡文	鈴木正造	七、二	京都市上京區寺町通若林茂一	八〇
書簡の方式と書法	松坂貞吉	六、四	國民書院	八〇
中等新作文	加藤貞次郎	六、二	佐藤幹枝	二、五〇
我が書翰	五十嵐力	五、一	佐藤幹枝	一、〇〇
女子作文の考へ方作り方及文例	金子彦二郎	五、二	明治出版會社	七〇
大日本雄辯史	三生坊道人	五、二	大日本雄辯會	七〇
模範兒童文庫	文庫木下藤吉郎	二、四	國民教育良書刊行會	八〇
亡くび日向の傳説	小山文雄	二、二	國民教育良書刊行會	八〇

第五 歴 史

日童本話史の	日童本話史の	日童本話史の	日童本話史の	日童本話史の	日童本話史の	日童本話史の	和宮御事蹟	童話の日本史鎌倉山	童文庫素盞鳴尊	童文庫明活天皇	童文庫谷村計介	童文庫河野道有
平安の都	奈良の都	難波の堀江	寶の國	十五夜の月	白旗の光	赤旗の光	桑田隨旭	吉田助次	兒童教育會	兒童教育會	兒童教育會	兒童教育會
吉田助次	吉田助次	吉田助次	吉田助次	吉田助次	吉田助次	吉田助次						
一〇、七	一〇、七	一〇、七	一〇、三	一一、六	一一、八	一一、七	一一、二	一一、三	一二、四	一二、四	一二、四	四二、四
文	文	文	文	文	文	文	藏	文	社	社	兒童教育會	社會文庫
陽	陽	陽	陽	陽	陽	陽	經書	陽	會	會	會	會
堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	院	堂	庫	庫	會	庫
一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	三〇、〇	並上一〇、〇 六五	一〇	一〇	一〇	一〇

熱血史談	近世日本史	吉野哀史	國史美談	源賴朝公傳	義士の討入	歴史參考考古資料掛圖	近世日本國民史	日本少年建國と奈良平安	赤穂義士	櫻田門士	文學戦争と講話	近世之日本
維新の人々	豐臣氏時代	鈴木友吉	北垣恭次郎	植松安	松川二郎	大野延太郎	德富猪一郎	關根順三	松川二郎	赤川菊村	葛岡敏	内田銀藏
溝口白羊	德富猪一郎	鈴木友吉	北垣恭次郎	植松安	松川二郎	大野延太郎	德富猪一郎	關根順三	松川二郎	赤川菊村	葛岡敏	内田銀藏
一〇、五	一一、一	一〇、六	九、四	九、四	九、三	九、六	九、六	九、二	八、七	八、四	八、四	八、四
日本評論社	友陽社	磯部甲陽堂	實業之日本社	泉堂	泉堂	泉堂	泉堂	泉堂	泉堂	泉堂	泉堂	泉堂
友陽社	友陽社	友陽社	友陽社	友陽社	友陽社	友陽社	友陽社	友陽社	友陽社	友陽社	友陽社	友陽社
二、三〇	三〇〇	一、八〇	一、五〇	一、〇〇	一、〇〇	二、五〇	二、五〇	各	一、二〇	一、五〇	六五	二、八〇

白國の義戰	町田梓棲	七二	丁未	出版	社	二、五〇
東西英雄一夕話	三宅雄二郎	七〇	政教	社	二、〇〇	
西洋歴史噺(ローマ字書)	田丸卓郎	五二	日本ローマ字	社	五〇	
ゾーフと日本	齋藤阿具	一九	廣文	館	二、五〇	

第六傳記

童模範龜井修三郎	星舟達叟	二二	二	立	舍	一、一〇
矢島楫子	守屋東	二四	婦人	新報	社	一、〇〇
一太郎物語	橋本春陵	二四	興國	社	五〇	
上は國母より	秋山專藏	一〇、二	高文	館	三、五〇	
愛國一太郎やあい	野崎迂文	一〇、二	碓部	甲陽	堂	一、八〇
大楠公夫人	高橋淡水	一〇、五	丁未	堂	出版	二、三〇
ワシントン物語	野邊地天馬	九二	丁未	堂	出版	二、三〇

奇僧南天棒	飯塚哲美	九六	九	隆文	館	二、〇〇
の大人格西郷南州翁	雜賀鹿野	八〇	止	善	堂	二、八〇
ウイールン言行録	外交研究會編	八四	止	善	堂	一、五〇
ナイチンゲイル物語	松尾孝輔	八三	丁未	出版	社	一、〇〇
七英八傑	大町桂月	八一	富山	出版	房	一、二〇
世界三十偉人錄	栗原己藏	七九	國民	書	院	一、〇〇
近世偉人物語	西村文則	七一	丁未	出版	社	一、五〇
伊達安藝公	野邊地天馬	七一	丁未	出版	社	一、五〇
恩師乃木院長	遠田郡教育會	六一	遠田郡教育	會	非賣品	一、八〇
山岡鐵舟	服部他助	六二	民友	社	一、八〇	
俳人芭蕉	高橋淡水	六二	日東	堂	七〇	
リビングストン傳	山崎藤吉	五九	俳書	堂	八〇	
世界古今名婦鑑	有島武吉	三四、三	警醒	社	一、〇〇	
	森本厚吉	三四、三	民友	社	四五	
	德富健次郎	三一、四		社		

第七 地理及紀行

私の西洋見物真田幸憲	二、五目	黒書店	一、五〇
改造の歐米より田子一民	九、五白	水書社	
滿鮮五十日間野暢籌	八、九國	民書院	一、六〇
世界風俗奇譚加茂熊太郎譯	七、六國	民書院	八、五
東宮御渡歐記溝口白羊	一〇、七日本評論出版部	出版部	三、五〇
奧羽地方新地理掛圖東京造畫館	一〇、三東京造畫館	東京造畫館	四、五〇
寫真應用新式刷版新地理掛圖	九、一一同		八、五〇
新地理掛圖中國地方之部	九、四同		三、五〇
新地理掛圖關東地方之部	三、三同		六、五〇
新地理掛圖四國九州之部	八、六同		三、〇〇
新地理掛圖近畿中部	八、六同		九、〇〇

第八 理學

科學遊具と自作清水隆	二、三	兒童科學教育會	五〇
小學理科園理科教育研究會	二、三	中	八〇
人間界の不思議岡本瓊二	二、一〇	富田文陽堂	
鳥學講話内田清之助	二、一六	中	三、八〇
天界の不思議岡本瓊二	二、一〇	富田文陽堂	六〇
通内外廢物利用の智識	二、二六	世帶會	三、五〇
俗内外廢物利用の智識	二、二六	世帶會	三、五〇
子併の聞人間の出來た話岡本瓊二	二、二一	文陽堂	五〇
きたがる人間の出來た話岡本瓊二	二、二一	文陽堂	五〇
發見發明界の不思議岡本瓊二	二、二三	文陽堂	六〇
新らしい物理學岡本瓊二	一〇、六	下出書店	一、六〇
最新理科講演集國民教育獎勵會	一〇、七	民友社	一、五〇
少年理科珍談岡本瓊二	一〇、一	敬文館	一、〇〇
誰にも相對性原理の話淺野利三郎	一〇、一	日本評論社	一、〇〇
解かるも相對性原理の話淺野利三郎	一〇、一	日本評論社	一、〇〇
日本少年吾等の實驗室西井潔	九、五	日本少年少女文庫刊行會	一、二〇

科學	飲食物の話	澤村 眞	九、四	中	文	館	二、二〇
科學	電氣の世界	堀 七 藏	八、六	教	文	館	二、二〇
科學	發明と文明	堀 七 藏	八、〇	中	村	時之助	二、二〇
航空	機標本圖	渡邊 一英	八、五	帝國飛行發行所			一、〇〇
理科	日の植物園	朝日直樹	八、九	日本少年少女文庫刊行會			一、〇〇
理科	なせですか	小林巴都子	七、八	敬	文	館	八〇
理科	なせですか	堀 七 藏	七、〇	敬	文	館	八〇
自然	の美と恵	愛知敬一	七、二	九	善株式會社		三、八〇
實驗化學	示教掛圖(第一輯)	大澤忠光	六、三	造	畫	館	四、〇〇
土壤	鑑定の話	工藤 齊	六、四	有	隣	堂	二、五
有毒植物	真圖(同説明書)	塚本岩三郎	四、一	東	京	造畫館	二、〇〇
最農產製造法	及説明書	東京造畫館	二、〇	東	京	造畫館	三、五〇
造林法掛圖	附解説書	塚本岩三郎	四、六	造	畫	館	二、〇〇

第九	數	學	日本少年少女文庫數の活動	福村省三	一〇、四	日本少年少女文庫刊行會	一、三〇				
第十	衛	生	遺傳か子供の性質	服部北溟	八、九	隆	文	館	二、〇〇		
衛生	長壽法	加藤正信	八、〇	國	民	書	院	一、二〇			
衛生	十二ヶ月	櫻田十次郎	八、八	實	業	之	日	本	社	六、五	
家庭衛生	の卷	家庭讀物改良會	七、〇	家	庭	讀	物	改	良	會	五、〇
通病	の豫防と療法	鳥 潟 豊	七、二	洛	陽		堂			九、〇	
禁酒	美談	丁未出版社	六、二	丁	未	出	版	社		三、〇	
第十一	政	治	大戦後の世界と日本	徳富猪一郎	九、〇	民	友	社		三、五〇	

都市問題の研究	長岡喜一	八、二	中央	報德會	三、五〇
地方自治の精神	守屋榮夫	八、一	中央	報德會	一、二〇
大勢逆行論	大谷光端	九、六	民友	社	五〇
戰後百人一話	富山房	八、一	富山	房社	一、五〇
帝國の危機	大谷光端	八、八	民友	社	四、五
優良町村之建設	山崎延吉	七、三	中央	報德會	三、五
大正青年と帝國の前途	徳富猪一郎	五、一	民友	社	一、二〇
地方改良の方法	井口丑二	四、七	中央	報德會	五〇
食料の獨立	山崎延吉	六、七	中央	報德會	四〇
何人も知らねばならぬ支那の智識	小倉節夫	一、二	隆文	館	一、五〇
第十二 社會					
社會教化と活動寫真	山根幹人	一、三、四	帝國地方行政學會		一、五〇

國民禁酒の研究	守谷東	一、二、四	婦人	新報社	一、五〇
貧か富か	安達憲忠	一、七	宜傳	社	二、二〇
國民より社會問題と現代思想見たる	青年教育調査會	一〇、二	文泉	社	一、〇〇
新時代の婦人	田子一民	九、五	白水	社	二、〇〇
現代研究講演集	國民教育獎勵會	九、八	民友	社	一、二〇
米國に於けるアルコール戰	田子一民	八、一	中央	報德會	三〇
友誼と理想より觀たる婦人の精髓	林靜太	六、一	警醒	社	七〇
第十三 美術					
皇太子殿下御渡歐紀念	寫真帖	一〇、八	大日本國民教育會		四、〇〇
描法水彩	彩畫集	七、九	富田文陽堂		五〇
第十四 兵事					
入營軍事教育百話	通俗軍事教育會	八、八	中興館		一、〇〇

名將の回顧録	原田政右衛門	八七	國民書院	一、二〇
海軍艦の話	海軍協會			九〇
童話軍艦				
第十五 實業				
合理的農家經營法	谷本龜次郎	一〇、三	隆文館	三、二〇
おくさまと簡易養鶏法	一條 郎	一〇、四	隆文館	二、五〇
實業示教圖第四輯	宮崎賢一	九、三	東京造書館	二、五〇
稻田萬石の經營	谷本米洲	八、二	止善堂	七五
通俗模範講話集	帝國農業振興會	八、一〇	隆文館	二、三〇
最新作物及蠶繭增收實際	廣瀬次郎	八、二	帝國實業學會	五、五〇
研究新鶏の飼方	中村弧月	一、二〇	國民書院	一、二〇
最も新鶏の飼方	長崎發生	六、二	國民書院	一、三〇
鶏と羊と山羊	石山賢吉	四、一〇	ダイヤモンド社	二、五〇
決算報告の見方	宮崎賢一	四、二	東京造書社	二、五〇
實業示教圖第二輯				二、五〇

實業示教圖第五輯	宮崎賢一	三九、七	東京造書館	二、五〇
第十六 家事				
裁縫ミシン全書	宗田 覺	一一、〇	宗田出版部	二、九〇
火災の用心	中林龜次郎	一〇、二	中村龜次郎	二〇
豫防火の用心	國澤きよ子	九、二	大倉書店	二、七〇
家庭に燃料の節約	家庭讀物改良會	七、〇	家庭讀物改良會	五〇
於ける燃料の節約	森本正哲	六、二	家庭讀物改良會	三五
家庭讀物改良會				
讀物家の事				
安價保健食物				
第十七 少年書類				
小學文藝讀本	山梨縣師範學校 附屬小學校	二、二	邦光堂	五〇
偉人童話選集	樋口紅陽	二、一	段書房	一、五〇
子供智慧集	吉田助次	二、九	興國社	五五
春野の王子	葛原 齒	二、三	東光閣	一、五〇

野路の小夜子	葛原 蘭	一、三	東	光	閣	一、五〇
スライプンソンの小供の	葛原 蘭	一、九	東	光	閣	一、二〇
世界童話選集	安田 信達	一、一〇	大	法	館	一、八〇
兒童劇脚本	兒童劇研究會	一、三	明治圖書株式會社			一、六三
夢の踊り子	永田 衝吉	一、七	紅	玉	堂	一、二〇
腕白のはじまり	水谷 武	一、二	誠	又	堂	一、〇〇
魔の子山の子	水谷 武	一、二	誠	文	堂	一、〇〇
此の國	水谷 武	一、二	誠	文	堂	一、〇〇
電車の一旗	葛原 蘭	一、二	東	光	閣	八五
小貓の鈴	葛原 蘭	一、二	東	光	閣	八五
林檎の花びら	安部 季雄	一、二	東	光	閣	一、七〇
孤兒院の娘	野邊地三右衛門	一、〇、二	丁	未	出版	一、三〇
たんぼぼの家	鈴木善太郎	一、〇、五	創	文	社	一、三〇

科學話	さかなのお庫	熊澤 鱗	一、〇、七	警	醒	社	一、八〇
尋常話	自習讀本の五年	玉千孝助	一、〇、一	實業之日本	社	一、三〇	
童話	十五夜お月さん	野口雨情	一、〇、六	尙	文	堂	一、二〇
集話	すけ童話椋鳥の夢	濱田 廣介	一、〇、八	新	生	社	二、〇〇
幼児に聞かせるお話	快男子タルタラン、	日本幼稚園協會	九、一〇	内	田	鶴	三、八〇
逸話	アンデイン	藤澤古雪	九、四	家庭讀物	刊	行會	二、五〇
日本少年	日本文學繪語	藤井 淡水	六、二	敬	文	館	
少女文庫	日本文學繪語	石井直三郎	八、二	日本少年少女文庫	刊	行會	一、〇〇
金	の	野邊地天馬	八、三	丁	未	出版	一、五〇
母を慕ひて	野邊地天馬	野邊地天馬	八、四	丁	未	出版	一、五〇
黒馬物語、フランダースの犬	加藤朝鳥譯	加藤朝鳥譯	八、〇	家讀物	刊	行會	一、七〇
イスマエル物語	大橋 房子	大橋 房子	八、六	警	醒	社	二、〇〇
少女立志お伽話	松美佐雄	松美佐雄	八、一	中	西	屋	一、〇〇

伽名 畫作 晰お ウ ン ッ ブ	オト ギ ウ ツ タ エ	話童 池 の 底	波童 謠 アル バム 外池の鯉	小童 謠 アル バム 外池の鯉	波小 お 匹 口 演 集	少女 美 談	少年 美 談	西洋 物 語	お伽 新 日 本	御伽 小 槌	小歴 説白 虎 隊
嚴谷小波	嚴谷小波	大村謙太郎	嚴谷小波		嚴谷小波	熊田葦城	熊田葦城	田丸卓郎	巖谷小波	久留島武彦	平井駒次郎
九、七	一〇、一	一〇、六	一一、二		五、一	一〇、五	一〇、五	五、二	五、九	六、七	六、二
富田文陽堂	喜株式會社	精華書院	富田文陽堂		大倉書店	實業之日本社	實業之日本社	日本のローマ字社	大倉書店	富山書房	國民書院
各	各	各	各		一、一〇	一、五〇	二、〇〇	五〇	一、〇〇	一、五〇	五五

第十八 幼年書類

讀兒 本童 モ ノ ガ タ リ	輕童 い 王 女	波小 お 伽 新 集	お八 つ の 代 り	お伽 圖 書 館	蒙古 來	說文 庫少 少年 忠臣 藏	歴史 小 少年 忠臣 藏	トム、 ソイヤ、 物語	旅行 世界の 果迄	お名 作お 話の 森	伽作 十五 夜物 語	お十 五 夜物 語	日曜 お伽 晰	修身 お伽 晰
横尾眞琴	矢口達譯	巖谷小波	八波則吉	鹿島鳴秋	平井駒次郎	平井駒次郎	佐々木邦譯	花野園人	朝日鯨陽	鹿島鳴秋	竹貫佳水	水田光		
至自 七、五	七、二	七、九	七、二	七、九	七、九	七、四	八、七	八、六	八、八	八、三	八、二	八、三		
敬文館	家庭讀物刊行會	富田文陽堂	敬文館	中西屋書店	國民書院	國民書院	家庭讀物刊行會	文陽堂	文陽堂	中西屋書店	中西屋書店	中西屋書店		
至自 五、〇	一、五〇	九〇	六〇	一、〇〇	五五	五五	非賣品	八〇	八〇	一三〇	八〇	一、二〇		

名無現代兵營海山星日進口陸儼	人のののののの本化語上侮	物盡業及商三百六十五科親しみ詩集詩(一九二二版)と遺傳小畑久五郎富山房	語藏藏人及商人學學山本一清警新新新	歌忽福荒原原山詩話會新潮	飛滑田城田田本一會新潮	鳥谷德三郎夫夫新新新	丙至大磯新新新	午文鏡部光光光	版文鏡部光光光	社堂關堂社社社	一、五〇 一、七〇 一、九〇 九〇 二、〇〇 二、〇〇 一、〇〇 一、六〇 四、〇〇 二、〇〇 六〇 一、八〇 二、五〇
----------------	--------------	-------------------------------------	-------------------	--------------	-------------	------------	---------	---------	---------	---------	--

思想社會	善奉	導仕	のの	基仕	準方	增西	田川	義光	一次	實丁	業未	之日本	日本	社社	一、五〇 二、〇〇	
<p>二、文部省選定 <small>青年團 婦女會</small> 文庫目錄 <small>(五拾圓又ハ百圓 テ出來ルモノ)</small></p> <p>△五拾圓位で出来る青年團文庫△ (順序不同)</p>																
日の丸	子の供	子の供	伽伽伽伽	伽伽伽伽	伽伽伽伽	伽伽伽伽	伽伽伽伽	伽伽伽伽	伽伽伽伽	伽伽伽伽	伽伽伽伽	伽伽伽伽	伽伽伽伽	伽伽伽伽	伽伽伽伽	各各各各各各
お伽文庫	ハクラン	ハクラン	お日本昔	お日本昔	お日本昔	お日本昔	お日本昔	お日本昔	お日本昔	お日本昔	お日本昔	お日本昔	お日本昔	お日本昔	お日本昔	各各各各各各
嚴谷小波	三宅克之	三宅克之	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	各各各各各各
嚴谷小波	三宅克之	三宅克之	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	各各各各各各
嚴谷小波	三宅克之	三宅克之	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	各各各各各各
嚴谷小波	三宅克之	三宅克之	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	各各各各各各
嚴谷小波	三宅克之	三宅克之	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	嚴谷小波	各各各各各各

書名	著者名	發行所	價格
明治勳臣、近世偉人百話	田中萬逸	國民書院	一、八〇
都に憧れて	天野藤男	親豐書院	一、三〇
歴史と自然と人	大類伸	右文館	一、四〇
歐米名士の印象	鶴見祐輔	實業之日本社	三、五〇
世界を煙で捲いて	齋藤松濤	日本書院	一、六〇
敗殘の國々を辿りて	久留義郷	日本評論社	二、五〇
三都見物	生方敏郎	日本書院	三、〇〇
新しい修養、心の掃除	前田加藤	先進堂	一、七〇
報徳修養訓話	花田仲之助	光進館	一、五〇
天に口なし	中村進午	弘學館	二、五〇
潮の口なし	川村庄助	星風堂	一、九〇
新しい發明及發見	赤澤義人	大明堂	一、三〇

▽百圓位で出来る青年團文庫△ (順序不同)

(五拾圓位で出来るモノニ更ニ左ノモノヲ加ヘル)

國民西洋歴史	柴田親雄	富山房	三、三〇
日本全國パノラマ地圖(東海道)	清水吉康	金尾文淵堂	一、五〇
平易なる皇室論	永田秀次郎	敬文館	一、五〇
現代人の生活	寺田精一	景文館	二、八〇
生活の改善	天岡直嘉	丁未出版社	二、五〇
最新水上競技法	熊田加藤	報知新聞社出版部	七、五
私の西洋見物	眞田幸憲	目黒書店	一、五〇
大正新立志傳	爲藤五田	大日本雄辯會	一、五〇
詳解漢和大典	服部小柳	富山房	三、五〇
毎日年鑑(大正十二年度)	毎日新聞社	毎日新聞社	一、〇〇

余の漫畫帖から	伊藤忠太	實業之日本社	二、〇〇
體育運動誌上展覽會	内外教育資料調査會	南光社	二、五〇
新知識の庫	三上於菟吉	實業之日本社	一、五〇
聖貧禮讃	宮崎安右衛門	磯部甲陽堂	一、五〇
わたり鳥の記	上原敬二	新光社	二、〇〇
地に跡を印した人々	別所梅之助	警醒社書店	三、〇〇
戯曲、新しき村を造るまで	石田傳吉	帝國地方行政學會	一、〇〇
口語文範	帝國教育會	實文館	一、〇〇
恩讐の彼方へ	菊池寛	春陽堂	五、〇〇
猿舌	内田魯庵	春秋社	二、五〇
明治神宮、意義ある參拜	木場貞長	博文館	一、二〇
國文學歷代選(現代篇)	芳賀矢一	文會堂	三、五〇
辭	林金澤庄三郎	三省堂	三、二〇

▽五拾圓位で出来る處女會文庫△ (順序不同)

書名	著者名	發行所	價格
これからの處女の爲に(上)	處女會中央部	日比書院	一、三〇
若き婦人の思想生活	沼田藤次	洛陽堂	二、三〇
處女より主婦となるまで	山脇房子	日比書院	二、三〇
女心と世の中	高島平三郎	磯部甲陽堂	二、〇〇
家庭生活の改造	嘉悦孝子	日新閣	一、三〇
趣味と實益の室内遊びいろく	廣瀬夏樹	昇文館	一、二〇
心のあつと	三宅やす	實業之日末社	一、八〇
女の人の爲に	武者小路實篤	曠野社	一、〇〇
女學校の時	沼田藤次	洛陽堂	一、七〇
懺悔の生活	西田天香	春秋社	二、五〇

静思	倉田百三	曠野社	一、二〇
名人物語	歌川飛鳥	丙午出版社	一、五〇
日本全國パノラマ地圖(東海道)	清水吉康	金尾文淵堂	一、五〇
西洋見物お土産話	眞田幸憲	目黒書店	一、一〇
大正婦人立志傳	澤田撫松	大日本雄辨會	二、五〇
静なる旅を行きつゝ	若山牧水	アールス	二、五〇
海の科	原田三夫	新光社	二、〇〇
山の科	原田三夫	新光社	二、〇〇
都に憧れて	天野藤男	親豊社	一、三〇
和歌の使	佐々木信綱	東盛堂	一、五〇
婦人の使	下田次郎	實業之日本社	一、八〇
學校家庭、女子の衛生	岡田道一	實業之日本社	二、〇〇
家庭科學、日常飲食物の知識	島田慶一	大同館	二、〇〇

◎百圓位で出来る處女會文庫◎ (順序不同)

(五拾圓位で出来るモノニ更ニ左ノモノヲ加ヘル)

家事覺書、主婦より	三宅やす	實業之日本社	一、二〇
日用品の使ひ方	家事改良會	家事經濟社	一、〇〇
上は國母より	秋山專三	興國社	三、五〇
日本文學讀本	與謝野晶子	文化學院	一、五〇
愛及女性を中心として	石井滿三	田書房	一、九〇
辭	林金澤庄三郎	三省堂	三、二〇

書名	著者名	發行所	價格
これからの處女の爲に(中)	處女會中央部	日比書店	一、三〇
愛、理性及勇氣	與謝野晶子	アールス	二、五〇

私の西洋見物	眞田幸憲	目黒書店	一、五〇
星の科	原田三夫	新光社	二、〇〇
婦人生活の創造(三角錫子遺稿)	小野秀雄	實業之日本社	一、七〇
恩讐の彼方へ	菊池寛	春陽社	一、五〇
地性と	早坂一郎	大日本圖書株式會社	一、五〇
女性醫學	大塚脛三	朝香屋書店	一、〇〇
聖貧禮讚	宮崎安右衛門	磯部甲陽堂	一、五〇
口語文範	帝國教育會	寶文館	一、〇〇
地に跡を印した人々	別所梅之助	警醒社書店	三、〇〇
社會奉仕の仕方	西川光次郎	丁未出版社	二、〇〇
名人人物	歌川飛鳥	丙午出版社	一、五〇
生活の改善	天岡直嘉	丁未出版社	二、五〇
家庭音楽講話	田邊尙雄	啓文社	一、八〇

現代小説選集	島崎藤村	新潮社	三、八〇
フロレンス、ナイチンゲール嬢傳	村田勤	警醒社	二、三〇
面白くて爲になる家庭の遊戯	石橋寺岡	廣文堂	二、二〇
現代婦人詩歌選集	茅野雅子	婦女界社	二、五〇
新しい修養心の掃除	前田加藤	先進堂	一、七〇
國文學歴代選(現代篇)	芳賀矢一	文會堂	三、五〇
婦人の爲に	高島平三郎	至誠堂	一、三〇
家庭夜話、女として母として	高峰博	文教書院	二、〇〇
親愛なる處女へ	天野藤男	天真閣	一、八〇
詳解漢和大辭典	服部小柳	富山房	三、五〇
毎日年鑑(大正十二年度)	毎日新聞社	毎日新聞社	一、〇〇

青年團 處女會 文庫についての注意二つ三つ

文庫ノ經費(ト云ツテモ主タルモノハ圖書費ダガ)ハ少クトモ創設費百圓以上、經常費年額五拾圓

以上トイフコトデアリ度イ。然モソレ丈ケノモノヲ一度ニ支出スルコトナク適宜幾回ニモ分割シテ使用スルガ良イ。一時ニ購入スル度數ヲ少クスルモ購入備付ノ回數ヲ成ル可ク多クスルコトガ必要ナル。

要スルニ青年團、處女會ノ文庫モソレガ年々歳々生長シテ行クヤウナ組織ニナツテ居ナケレバイケナイ、テナイト殆ンド意味ヲナサナイモノトナル惧レガアルト思フ。圖書館トカ文庫トカ云フモノハ之ヲ譬ヘテ見レバ丁度樹木ノヤウナモノデ毎年新芽ヲ吹キ出サナイデハ枯木モ同然デアアル。圖書館トイヒ文庫ト云フ山デハ枯木ハ一向賑ヒトハナラナイ、否却ツテ邪魔物ニナルノデ、ドウシテモ芽ヲ吹キ葉モ繁リ花モ咲キ實モ結ブノデナクテハ頼母敷クナイ。

文庫ノ主要ナル財産ハ圖書デアツテ藏書ハ貯金ニ似テ居ルガ、此ノ貯金ハ据置バカリデハイカヌ「年掛」ニモシ「月掛」ニシテモ銳意増殖スベキデアアル。ソシテコノ貯金——財産ヲバ絶エズ運轉利用シナケレバナラス。コノ貯金ヲ死藏セズ寢カセテ置カズ、大ニ活動サセルト云フ點ガ、圖書館ノ單ナル守錢奴的貯蓄家ト違フトコロテ寧ろ頗ル活動的ナ銀行家ニ似テ居ル所以デアアル。

三、本縣選定社會教育圖書目錄

(自大正十二年一月至大正十三年三月)

大正十二年一月調

[○印ハ青年團ニ適ス、×印ハ處女會ニ適ス]

性別	書名	著者名	發行年月	發行所	定價
×○	小公子	佐々木茂索譯	一一、一二	東光閣	三、〇〇〇

性別	書名	著者名	發行年月	發行所	定價
○×○	ぐうたら道中記	佐々木邦	一一、一	弘學館	二、五〇〇
○×○	心の跡	田子一民	一一、一	帝國地方行政學會	二、五〇〇
○×○	編物の新型と編み力	樋口歌代	一一、一	家庭生活改善會	一、九〇〇
○×○	現代文庫講話及文範	宮崎晴美	一一、一	日本書院	二、三〇〇
○	民法と智識の利益と	加藤美命	一一、一	朝香屋	四〇〇
○	粹な親鸞様	同	一一、一	同	四〇〇
○	罪なき人も油断すな	同	一一、三	同	四〇〇
○	名人落語傑作集	落語研究會	一一、〇	日本書院	一、〇〇〇
○×○	花袋紀行集第二輯	田山花袋	一一、一	博文館	三、二〇〇
○×○	上野と淺草	三田村鳶魚	一一、二	崇文堂	二、二〇〇
○×○	續私の西洋見物	真田幸憲	一一、二	目黒書店	一、八〇〇
○×○	歐米より故國を	下村宏	一一、二	丁未出版社	二、八〇〇

二月調

[○印ハ青年團ニ適ス、×印ハ處女會ニ適ス]

性別	書名	著者名	発行年月	発行所	價定
×○×○×○×○	東京各學校 内情調へ修學案内	中原隆三	一一、二	松堂	一、〇〇
○	療養位温泉案内	松川二郎	五版 一一、七	徳社	二、六〇
○	診療簿餘白	不如丘山人	十三版 一一、二	春陽堂	二、〇〇
○	小立志此父子(縮刷)	堀内新泉	一一、三	磯部甲陽堂	二、二〇
○	小立志此人(同)	同	一一、一	同	二、二〇

三月調

〔○印ハ青年團ニ適ス
×印ハ處女會ニ適ス〕

性別	書名	著者名	発行年月	発行所	價定
×○	何人も知らぬ支那の智識	小谷節夫	一一、二	隆文館	一、五〇
○	ねばならぬ野球戦法	大阪毎日新聞社	一一、一	大阪毎日新聞社	八〇
○	最新野球戦法	根岸橘三郎	二版 一一、一	啓盛社	三、〇〇
○	新島襄	島崎藤村	九版 一一、二〇	春陽堂	一、七〇
○	エトランゼ	水野千里	一一、一	啓盛社	一、二〇
×○	天文太陽の親類めぐり	同	一一、一	啓盛社	一、二〇
×○	童話	同	一一、一	啓盛社	一、二〇

性別	書名	著者名	発行年月	発行所	價定
○	力賞相模見物手引	横井春野	一一、二	野球界社	九〇
×	鑑成と智恩院	東京童話會	一一、一	紅玉堂	一、〇〇
○	重成と智恩院	重成と智恩院	一一、一	紅玉堂	一、〇〇
○	青淵實業講話	蘆川忠雄	一一、一	大日本圖書	二、五〇
○	列青年の社會教育	興寺龍溪	一一、一	尙文堂	一、二〇
○	大楠公夫人	碧瑠璃園	一一、一	大燈閣	一、九〇
○	最近の獨逸研究	表現社	一一、一	松堂	二、〇〇
○	明治神宮懺悔物語	佐藤鋼次郎	一一、二	「男」出版部	二、〇〇
○	女子編物新書	梶山彬	一一、二	廣文堂	二、〇〇
○	技藝編物新書	千葉胤明謹選	一一、九	大坂毎日	二、二〇
○	明治天皇御製集	長尾和彦	再版 一一、二	東京毎日	二、二〇
○	戯曲松虫鈴虫	吉川英次	三版 一一、一	森江書院	一、五〇
○	親鸞	同	一一、一	東京毎日新聞社	一、七〇
○	史蹟を採る人々に	一高史談會	一一、二	黎明社	二、七〇

性別	○×○×○×○×○×○×○×○×○ ○ ○ ○													
書名	青年と語る	芭蕉俳句新譯	家庭に必要な庭園の智識	優生學と人生	商業學總論	魔術	支那から南洋へ	理想の村	東西文明の調和	體驗より得たる體育	國民像算論			
著者名	淺山尙	半田良平	田村剛	田中香涯	岡野九郎	後藤亮一	東孤竹	石田傳吉	大隈重信	日比野寛	太田正孝			
發行年月	二、二	二、四	二、三	二、三	二、二	二、四	二、三	二、二	二、二	二、二	二、二			
發行所	南光堂	紅玉堂	文化生活研究會	六鑑閣	文雅堂	小西書店	誠志堂	松陽堂	早大出版部	東京毎日新聞	報知社			
定價	一、五〇	三、七〇	一、八〇	二、二〇	一、二〇	二、〇〇	三、〇〇	二、五〇	二、五〇	五、〇〇	一、八〇			

性別	○×○×○×○×○×○×○×○×○													
書名	生物學概論	教育に安住して	藪柑子集	冬彦集	京阪一日の行樂	創作西行	人格と修養	浪六全集(第二十一編)	小説汗の價值(同)					
著者名	平林初之輔	八波則吉	同	吉村冬彦	田山花袋	吉野臥城	井上哲次郎	村上浪六	同					
發行年月	二、一	二、二	二、二	二、一	二、二	十五版 二、一	二、二	二、二	二、一					
發行所	春秋社	教育研究會	同	岩波書店	博文館	新光社	廣文堂	至誠堂	同					
定價	一、〇〇	二、三〇	二、〇〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、二〇	一、二〇					

性別	書名	著者名	発行年月	発行所	定価
×	婦人の法律	片山哲	二、三、四	新生社	三、五〇
○	あふるゝ愛の學校	大久保龍	二、三、四	大同館	二、〇〇
×	日本の少年團	小柴博	二、三、三	同文館	二、四〇
○	自然界の話(第一編)	吉田弘	二、三、三	黒書店	二、七〇
×	太陽の環境と、時代の星	朝日融	二、三、四	進進堂	二、五〇
○	英吉利の女王エリザベス	浦谷甫水	二、三、三	弘道館	一、八〇
×	自殺と自戕	ほたるざはらんせい	二、三、三	新潮社	一、五〇
○	日蓮聖人の足跡	安井源雄	二、三、四	文潮社	三、〇〇
×	英雄の少年時代	三宅やす子	二、三、四	文化生活研究會	二、二〇
○	父ドストイエスキの回想				
×	未亡人論				

六月調

(○印ハ青年團ニ通ス
×印ハ處女會ニ通ス)

性別	書名	著者名	発行年月	発行所	定価
○	小おめでたき結婚	三島章道	二、三、五	關根書店	二、四〇
○	ピックン陸上競技法	野口源三郎	二、三、五	黒書店	四、五〇
○	現代青年の爲に	高萩章	二、三、五	米本書店	八、〇〇
○	維新志士活躍史(上下)	上田景二	二、三、四	文教社	六、五〇
○	勤王	廣畑庄太郎	二、三、三	日本青年館	五、〇〇
○	自治的青年團幹部の要領	植松安	二、三、四	廣文堂	一、八〇
○	小さい國文學史	熊谷一彌	二、三、四	改造社	二、三〇
○	テニ	德富健次郎	二、三、四	永福書店	四、五〇
×	竹崎順子	園部耕作	二、三、五	杉堂	一、五〇
×	田園趣味三百坪を培うて	新井弘城	二、三、四	博文館	一、八〇
×	少年お話の泉第一集	碧瑠璃園	二、三、四	大鑑閣	九、〇〇
×	少年お話の泉第一集	岡本瓊二	二、三、三	陽堂	六、〇〇
×	英雄の少年時代	碧瑠璃園	二、三、四	大鑑閣	九、〇〇
×	通俗科地上界の不思議	岡本瓊二	二、三、三	陽堂	六、〇〇
×	學叢書				
×	物語日本史神代の卷				

○×○× × ○× × × × ○×○ × ○ ○×○× ○	山岳めぐり	横井春野	二、六	博文館	二、〇〇
一日の旅行	河田楨	二、五	自強館	二、三〇	
二日山の旅	巖谷小波	二、五	日本書院	一、〇〇	
家庭劇小公子	齋藤六衛	二、六	洋書社	一、二〇	
新式水泳術	小川未明	二、五	成成社	一、八〇	
紅雀	正木不如丘	二、六	春陽堂	二、〇〇	
木賊の秋	河野自由里	二、五	文教書院	二、五〇	
ヤンキー化するまでのミスター彌助	横井春野	二、六	文教書院	二、六〇	
少女運動競技の仕方	下田次郎	二、五	博文館	一、八〇	
婦人の務	下田次郎	二、五	博文館	一、八〇	
自然界の雲雨風	芳澤喜久	二、五	黒書院	一、七〇	
童話集お伽の日本	竹貫直人	二、六	博文館	三、〇〇	
運動競技と国民力	下田次郎	二、六	博文館	一、八〇	
努力	中井修	二、六	村書店	一、八〇	

× × × ○	性別	○ × ○ × ○ × ○ × ○ × ×
東京起點二三日	書名	女性は支配する
名勝便覽	著者名	生方敏郎
英雄の少年時代	發行年月	二、三、四
文化生活と家庭の改善	發行所	日本書院
	定價	二、〇〇
赤坂さだ	著者名	松波正則
碧瑠璃園	發行年月	二、三、五
藤岡良三	發行所	米本書店
木村豊吉	定價	七〇
八版	發行年月	二、三、五
緑葉社	發行所	交蘭社
大鑑閣	定價	一、六〇
教佑社	發行所	富文館
	定價	九五
	發行所	新作社
	定價	二、二〇
	發行所	大阪屋
	定價	二、五〇
	發行所	帝國地方行政學會
	定價	一、六〇

七月調

性別	書名	著者名	發行年月	發行所	定價
○×○××○	國際寫真情報關東大震災號	國際情報部	二、一〇	國際情報部	一、二〇
	大震災大火災	大日本雄辯會講談社	二、一〇	大日本雄辯會講談社	一、五〇
	正衆大震災大火災	大日本雄辯會講談社	二、一〇	大日本雄辯會講談社	一、五〇
	民間歷史趣味の講談	小林 鶯里	二、一五	文藝社	一、三〇
××○×○×○×○×○×○	公語我が村	森恒太郎	二、一六	青潮社	二、〇〇
	神秘境をたづねて	上田敬二	二、一六	新光社	一、八〇
	偉人との生活	足立栗園	二、一五	文陽社	一、五〇
	涼味チツクタツクの日記	萩原井泉水	二、一六	日本書院	一、五〇
	俳散情熱の嵐	井上康文	二、一六	大東社	二、〇〇
	文情熱の嵐	井上康文	二、一六	大東社	二、〇〇
	鬼城の白道	武田豊四郎	二、一六	上田屋	一、八〇
	フランスマ童話集	加藤正徳	二、一五	白水社	二、〇〇

十月調

性別	書名	著者名	發行年月	發行所	定價
○×○×○×○××	幼兒の想像と其教育	黒瀬 艶子	二、一六	中文館	二、五〇
	日本アルプスと秩父巡禮	田部 重治	二、一六	北星堂	一、七〇
	地理教授料世界一週	山本 幸雄	二、一五	目黒書店	二、八〇
	宮城寫真帳	大日本國民教育會	二、一五	大日本國民教育會	一、五〇
	歡樂の天子	江部 鴨村	二、一五	越山店	一、九〇
×○×○〇〇〇	野球	三宅 大輔	二、一六	改造社	二、八〇
	野球	安部 季雄	二、一六	大版屋號	一、八〇
	民衆の勝利	中野 隆元	二、一六	日本禪書刊行會	二、六〇
	現話の勝利	高木 斐川	二、一六	皇國修養會	五、〇〇
	代修養觀	松川 二郎	二、一六	日本書院	一、八〇
	遊覽山へ海へ温泉へ	松川 二郎	二、一六	日本書院	一、八〇

八月調

二月調査

性別	書名	著者名	発行年月	発行所	定価
○×○×	世界は日本の震災を如何に見たか グイタミンの話	世界思想研究会 大黒薫	一三、一 一三、二	世界思想研究会 札幌峴社	一、四〇 一、〇〇
×○×○	釣の話し	大阪毎日新聞	一三、九	大毎、東日	一、〇〇
○×○×	小鳥の話し	同	一三、三	同	一、〇〇
○×○×	榮養料理講習録	平栗要三郎	一三、三	日本評論社	一、三〇
○×○×	脳力集中法及其休養	河合三郎	一三、三	三徳社	九五
○×○×	地震科学	原田三夫	一三、三	新光社	一、八〇
○×○×	國體概念の研究	池岡直孝	一三、二	同文館	一、九〇
○×○×	小公女	佐々木茂索	一三、二	東光閣	二、五〇
○×○×	結核の話し	有馬頼吉	一三、〇	大毎	一、〇〇

大正十三年一月調

性別	書名	著者名	発行年月	発行所	定価
○×○×	歴史京鹿子	笹川臨風	一三、八	博文館	二、二〇
○×○×	現代理科の話し	清水保之	一三、七	紅玉堂	一、三〇
○×○×	誰にも科学の話し	阪部熊吉	一三、七	文教社	二、六〇
○×○×	必要な科学の話し	堀内新泉	一三、八	常磐堂	一、八〇
○×○×	貯金物の話し	朝日新聞社経済部	一三、八	日本評論社	一、五〇
○×○×	通俗財話	朝日新聞社経済部	一三、八	日本評論社	一、五〇
○×○×	人格立志案内	中村徳五郎	一三、八	富田文陽堂	一、二〇
○×○×	修人格大正青年及青年團	同	同	同	一、二〇
○×○×	修人格常識成功講話	同	同	同	一、二〇
○×○×	これからの入間	飯塚哲英	一三、二	日本書院	一、〇〇
○×○×	後藤新平子爵國民訓	三戸十三	一三、二	同	一、〇〇

○×○×○× ○○×○×	農 村 の 經 濟 善 生 永 助	一三、一	丁 未 出 版 社	一、五〇
秘 訣 人 心 觀 破 法 無 無 庵 子	二一、一	大 東 社	一、五〇	
昇 日 を 待 つ 間 萩 原 井 泉 水	二二、二	聚 英 閣	一、九〇	
涙 の 振 作 に 泉 杉 田 德 一	二二、二	二 西 社	二、三〇	
國 民 精 神 振 作 義 解 に 山 田 孝 雄	二三、一	寶 文 館	八、八〇	
關 帝 大 震 災 系 統 地 圖	二二、二	大 每、東 日	五、五〇	

四、縣下公私立圖書館一覽

大正十三年三月末現在は九十四館、内公立八十三館、私立十一館にして前年四月以來二十九館を増す、東宮御慶事記念事業として新館増の傾向あるは文化の爲喜ばしきこと、云ふべし。

名 稱	所在地	設立年月	大正十二年年度 編入圖書 冊數	閱覽人員 大正十一年 年度延入 館日數 開館人員	館長氏名
私立浦和簡易圖書館	浦和 浦和 小學校	大正二、八	—	—	大 島 寬 爾
埼玉圖書館	埼玉 浦和 町	大正二、一〇、〇〇〇	四、五五五	四、九二七、〇六六	大 島 寬 爾
○安行村立圖書館	安行 安行 小學校	大正三、七	一四〇	一、五〇〇	中 山 吉 長

入 間 郡

名 稱	所在地	設立年月	大正十二年年度 編入圖書 冊數	閱覽人員 大正十一年 年度延入 館日數 開館人員	館長氏名
所澤町立圖書館	所澤 所澤 小學校	明治四、八	四〇三	三〇〇、一、三六八	一、二 平 野 常 造
勝呂村立簡易圖書館	勝呂 勝呂 小學校	大正九、三	二一〇	一七〇	二、七 井 上 昌 治
飯能町立飯能圖書館	飯能 第一飯能 小學校	大正九、八	二八五	三三三	八、吉 川 與 一
越生町立越生圖書館	越生 越生 小學校	大正九、〇	一三〇	六〇七、二、六八	七、六 神 山 太 三 郎
香妻村青年簡易圖書館	私立 香妻 小學校	大正九、〇	二〇〇	五〇〇、一、〇五	五、石 田 眞 平
名栗村立上名栗第二簡易圖書館	村立 上名栗第二 小學校	大正九、〇	二〇〇	一八〇	三、五 岡 田 要 作
入間村立圖書館	村立 入間 小學校	大正一〇、一	二〇〇	八四三、四、四五	二、六 金 子 一 郎
入間川町立簡易圖書館	町立 入間川 小學校	大正一〇、三	二二〇	九八五、七、三三四	三、吉 川 由 五 郎
元狹山村立簡易圖書館	村立 元狹山 小學校	大正一〇、三	一五〇	二〇〇	三、友 野 武 平
下名栗農業補習學校通俗圖書館	村立 下名栗 小學校	大正一〇、三	二七〇	四六三	三、〇 大 澤 淺 次 郎
原市場村立簡易圖書館	村立 原市場 小學校	大正一〇、九	七三	二五五	三、馬 場 治 郎
村立大井圖書館	村立 旭 小學校	大正一〇、一三	二二五	四三三	三、馬 場 治 郎
川角村立簡易圖書館	村立 二葉 小學校	大正一〇、三	一〇〇	七五	三、馬 場 治 郎
三ヶ島村立三ヶ島簡易圖書館	村立 三ヶ島 小學校	大正一〇、五	七五	一、五七	二、奧 泉 信 平
富岡村立簡易圖書館	村立 富岡 小學校	大正一〇、九	五五	七〇〇	五、長 島 傳 十 郎
名栗村立上名栗第二簡易圖書館	村立 上名栗第一 小學校	大正一〇、九	三三〇	二八三	二、森 田 眞 助

秩父郡										
圖書館	學校	圖書	校名	設立	冊數	面積	建築費	設備費	職員	備考
原谷村立簡易圖書館	私立	原谷	原谷小學校	明治四、二	六七	五〇	一、三七一、一、三九九	二六〇	四、八	齊藤 清作
横瀬村立簡易圖書館	私立	横瀬	横瀬小學校	明治四、一〇	七〇	六〇	四九元	七四七	一、八	引間 金作
皆野村立簡易圖書館	私立	皆野	皆野小學校	明治四、一〇	四〇	四〇	一、一四一、九七	二五〇	四	猪野 林助
中川村立簡易圖書館	私立	中川	中川小學校	明治四、六	四〇	四〇	一、〇五三	三三〇	三	横田 知有
小鹿野町立簡易圖書館	町立	小鹿野	小鹿野小學校	大正元、二	三三	五〇	一、〇〇〇、二、八八五	三六五	七、八	青葉 伊佐吉
兩神村立簡易圖書館	村立	兩神	兩神小學校	大正二、一	三〇	三〇	七五二、九七二	三六五	二、七	高田 朝吉
國神學校同窓會私立簡易圖書館	私立	國神	國神小學校	大正三、一	五五	七五	七五二、二、五五	三六五	七	田島 道造
私設千野圖書館	私立	八和田	八和田村高谷	明治四、一	三	三	一、五〇八	三三〇	三〇〇	一千野 幸三郎
八和田村立戶田圖書館	私立	八和田	八和田小學校	大正三、一	一〇	一〇	一、〇一一、四七〇	三三〇	一、四	高橋 伴吉
大河村立圖書館	私立	大河	大河小學校	大正二、八	一五	一〇〇	六三二、一四七	一五二	二	高橋 輝治
○三保谷村立圖書館	私立	三保谷	三保谷小學校	大正三、五	六〇	五〇	四五	一	一	岡安 源一郎
○小川町立圖書館	町立	小川	小川小學校	大正三、二	一五〇	一五〇	一	一	一	長岡 新作
○福田村立通俗圖書館	私立	福田	福田小學校	大正三、一	二六	一〇	一	一	一	横田 小三郎
○南吉見村立圖書館	私立	南吉見	南吉見小學校	大正三、一	一	一	一	一	一	缺員
○北吉見村立圖書館	私立	北吉見	北吉見小學校	大正三、三	一	一	一	一	一	缺員

五五

元加治村立簡易圖書館	私立	元加治	元加治小學校	大正二、二	一四三	二二〇	四九	三九九	二〇七	三	新井 啓三
水富村立簡易圖書館	私立	水富	水富小學校	大正二、二	二〇〇	一七〇	三九	二、五〇〇	二〇	三	橋本 惣右衛門
精明村立簡易圖書館	私立	精明	精明小學校	大正二、二	一七三	一五〇	一五五	一、〇六六	九〇	二	高篠 彦平
大家村立簡易圖書館	私立	大家	大家小學校	大正二、二	六〇	四〇	一五〇	一、〇五	三〇	四	小川 三一郎
堀兼村立簡易圖書館	私立	堀兼	堀兼小學校	大正三、一	一三〇	一〇〇	三二一、二〇六	五	三	三	細田 勝太郎
坂戸町立坂戸圖書館	町立	坂戸	坂戸小學校	大正三、三	一〇〇	七六	一〇〇	一〇〇	一	一	拔井 半内
松井村立簡易圖書館	私立	松井	松井小學校	大正三、三	五八〇	三三〇	三〇	一〇	一七	〇、六	吉原 宇一
古谷村立簡易圖書館	私立	古谷	古谷小學校	大正三、三	八〇	六七	三〇〇	二〇〇	一〇	二〇	粕谷 武藏
藤澤村立簡易圖書館	私立	藤澤	藤澤小學校	大正三、三	八〇	七〇	一〇〇	八三	一七	五	長澤 利吉
高萩村立簡易圖書館	私立	高萩	高萩小學校	大正三、三	一〇〇	七五	一〇〇	三三	七	三	松本 岩吉
毛呂村立簡易圖書館	私立	毛呂	毛呂小學校	大正三、三	空	五〇	一五〇	一	一	一	田中 榮藏
○豐岡圖書館	私立	豐岡	豐岡小學校	大正三、四	八五〇	四八	七八	一	一	一	桑田 源次
○田面澤村立簡易圖書館	私立	田面澤	田面澤小學校	大正三、五	八〇	五〇	二〇	三〇四	一	一	古川 英敏
○福原村立簡易圖書館	私立	福原	福原小學校	大正三、三	五〇〇	四〇〇	一	一	一	一	府瀨川 岩治
○霞ヶ關村立圖書館	私立	霞ヶ關	霞ヶ關小學校	大正三、一	三〇〇	二六	一	一	一	一	平井 朝界
○鶴ヶ島村立簡易圖書館	私立	鶴ヶ島	鶴ヶ島小學校	大正三、三	一	一	一	一	一	一	缺員
○高麗川村立簡易圖書館	私立	高麗川	高麗川小學校	大正三、三	一	一	一	一	一	一	缺員

五四

下吉田村通俗圖書館	私立	吉田小學校	大正四、一	二二	100	六三	一、九二	三六五	三六坂本一耶
三澤村青年團私立簡易圖書館	私立	三澤小學校	大正四、二	八五	100	100	100	0、五田島泰助	
樋口簡易圖書館	私立	樋口小學校	大正六、六	五〇	五〇	四四	四三	一、五黑澤政次	
久那村立簡易圖書館	私立	久那小學校	大正七、四	三〇	三〇	二〇	1、000	三、八齋藤林吾	
大瀧村立圖書館	私立	大瀧小學校	大正九、七	三〇	三〇	五九	1、100	四、六松本喜久藏	
白川村立簡易圖書館	私立	白川小學校	大正一〇、二	七〇	五〇	二七〇	五五	三、二小櫃佐金太	
槻川村立槻川圖書館	私立	槻川村役場	大正三、二	空	空	二七	三〇六	一、七高田群次郎	
○大河原圖書館	私立	大河原小學校	大正三、五	五〇	四〇	一六五		一、島田金三郎	
○高篠圖書館	私立	高篠小學校	大正三、六	一五〇	五〇	三五五		一、大塚知平	
○尾田村立圖書館	私立	尾田村小學校	大正三、六	110	100			一、杉本米松	
○大宮圖書館	私立	大宮小學校	大正三、七	二〇〇	一〇〇			一、缺員	
○太田村圖書館	私立	太田小學校	大正三、七	一五〇	五〇			一、缺員	
○倉尾村立第一圖書館	私立	倉尾小學校	大正三、三					一、缺員	
○倉尾村立第二圖書館	私立	倉尾小學校	大正三、三					一、缺員	
私立安齋簡易圖書館	私立	東見玉村大字沼上	大正三、四	一五〇	100	1、000	七〇〇	二、安齋精一	
本泉村立太駄簡易圖書館	私立	太駄小學校	大正一〇、六	三〇	二〇	二二	二四	〇、九飯野五市	

共和村立簡易圖書館	私立	共和小學校	大正二、三	100	八〇	四〇	四九	三〇〇	一、六山田耕作
藤田村立簡易圖書館	私立	藤田小學校	大正二、九	九〇	五〇	五九	八三	一、〇六野村萬常	
八基村立圖書館	私立	八基小學校	明治三〇、四	141	二〇	二、三八七、〇〇五	二七三	二、五八並木新作	
熊谷町立圖書館	町立	熊谷町字熊谷	明治三〇、三	1、017	五〇〇	六、七三三、二八〇	三、二八〇	三、二一八齋藤茂八	
中瀬村立中瀬圖書館	私立	中瀬小學校	大正四、二	108	空	一、四四	九八	三、三三小暮豐吉	
御正村立大正記念圖書館	私立	御正小學校	大正五、一	空	三〇	一、三三	四六	二、二九野口茂一	
村立大正記念圖書館	私立	大寄小學校	大正六、七	二〇	三〇	五八	二〇	二、〇〇根岸卷之助	
三尻簡易圖書館	私立	三尻小學校	大正二、二	六〇	四〇	二、一、四四	二七	二、三、四眞下金五郎	
深谷町立深谷圖書館	町立	深谷小學校	大正三、二	五〇〇	四〇〇	二〇〇	九八	二、〇、一小林倭子	
○花園村立花園圖書館	私立	花園小學校	大正三、七	二〇	三〇			一、山口義一	
○藤澤村立藤澤圖書館	私立	藤澤小學校	大正三、一〇	100	100	五〇〇		一、大澤榮吉	
○幡羅村立幡羅圖書館	私立	幡羅小學校	大正三、二	五〇〇	四〇〇			一、缺員	
○妻沼町立妻沼圖書館	町立	妻沼小學校	大正二、二	100	100	一、八四		一、福島大藏	
太田村立圖書館	私立	太田第一小學校	大正七、四	七〇	五〇	三九	七五	三、一野本品吉	
禮羽村簡易圖書館	私立	禮羽小學校	大正一〇、九	四〇	四〇〇	五九	一、二七	二、五朝比奈定五郎	

五、縣下各郡市別公私立圖書館數一覽 (大正十三年三月現在)

郡市名	町村數	公立圖書館數	私立圖書館數	計
北葛飾郡				
○三輪野江村簡易圖書館	村立	三輪野江小學校 大正二〇、六一九	一〇〇 二〇〇、一、五〇〇	八九八
○上高野村立圖書館	村立	上高野小學校 大正二二、五二二	一〇〇 一〇〇	二〇〇
○吉川町立吉川圖書館	町立	吉川小學校 大正二二、六一六	一〇〇 九三	一九三
○富多村立圖書館	村立	富多小學校 大正二二、七〇七	八〇 三五〇	四三〇
南埼玉郡				
○鴻巣村立鴻巣圖書館	村立	鴻巣小學校 大正二二、三〇三	—	—
○榑造川村立圖書館	村立	榑造川小學校 大正二二、三〇三	—	—
私立東武圖書館	私立	湖止村大字南川崎 明治三三、五二〇	二〇〇 五〇、三、七〇〇	二、六五〇
三箇村立三箇圖書館	村立	琢玉小學校 大正二二、四〇四	五〇 三〇、二、〇〇〇	二、〇五〇
久喜町立圖書館	町立	久喜小學校 大正二二、四〇四	三〇〇 一、六〇〇	一九〇〇
江面村立圖書館	村立	江面小學校 大正二二、四〇四	二〇〇 五五	八三
○私立明倫圖書館	私立	江面村下早見 大正二二、九〇九	—	—
川越市				
川越圖書館	市立	川越市南久保町 大正二二、四〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三箇野江村簡易圖書館	村立	三箇野江小學校 大正二〇、六一九	一〇〇 二〇〇、一、五〇〇	八九八
上高野村立圖書館	村立	上高野小學校 大正二二、五二二	一〇〇 一〇〇	二〇〇
吉川町立吉川圖書館	町立	吉川小學校 大正二二、六一六	一〇〇 九三	一九三
富多村立圖書館	村立	富多小學校 大正二二、七〇七	八〇 三五〇	四三〇
北葛飾郡				
三輪野江村簡易圖書館	村立	三輪野江小學校 大正二〇、六一九	一〇〇 二〇〇、一、五〇〇	八九八
上高野村立圖書館	村立	上高野小學校 大正二二、五二二	一〇〇 一〇〇	二〇〇
吉川町立吉川圖書館	町立	吉川小學校 大正二二、六一六	一〇〇 九三	一九三
富多村立圖書館	村立	富多小學校 大正二二、七〇七	八〇 三五〇	四三〇

六、縣下各郡市別公私立圖書館諸統計表 (大正十二年四月一日現在)

郡市名	町村數	公立圖書館數	私立圖書館數	計
北足立	六六	—	二	二
北入間	六二	—	二	二
北秩父	二八	—	—	—
北比叡	三二	—	—	—
北大里	二〇	—	—	—
北北里	三九	—	—	—
北南里	四九	—	—	—
北埼玉	四二	—	—	—
北葛飾	三一	—	—	—
北川越	三六九	—	—	—
計		八三	一一	九四

郡市名	種別	圖書館數	大正十二年度經費豫算		藏書冊數	大正十二年度圖書購入費		大正十二年度圖書費	大正十一年度圖書費		圖書館人員	圖書館日數	圖書館人員一日平均
			總額	圖書購入費		延人員	圖書館人員						
北足立	立	二	一〇,〇〇〇	四,五五五	五,六〇一	四一,五二六	三,八四〇	四一,九七五	三,八四〇	四,九四〇	一〇八	九,五	
企間	企	三	五,二〇四	三,八四〇	一一,五四二	四二,九七五	二,九三七	四二,九七五	四,九四〇	四,九四〇	九,五	五,七	
父玉	父	一	一九五	一六五	五,一五一	二,九三七	一,六五	二,九三七	一,〇六八	一,〇六八	一,〇六八	二,七五六	
里玉	里	四	八四六	七〇五	八,七八四	一五,一九七	一,六五	一五,一九七	一,〇六八	一,〇六八	一,〇六八	二,七五六	
琦玉	玉	二	一,九二三	一,〇七五	二,六二〇	一四,四二六	一,九九八	一四,四二六	一,〇六八	一,〇六八	一,〇六八	二,七五六	
葛飾	葛	四	五二〇	四五〇	九六八	一,九九八	四,九〇六	一,九九八	四,九〇六	四,九〇六	四,九〇六	四,九〇六	
北足立	北	一	一九〇	一三〇	一,二五〇	八,九八	一,二五〇	八,九八	一,二五〇	一,二五〇	一,二五〇	一,二五〇	
市町村立	計	一	四,〇三三	一,〇〇〇	三二,七四四	二二,五八六	一,〇〇〇	三二,七四四	二二,五八六	二二,五八六	二二,五八六	二二,五八六	
私立	私	一	一三,八四四	二二,五二〇	八九,五〇一	一四,五四三	一四,五二〇	一四,五二〇	一四,五二〇	一四,五二〇	一四,五二〇	一四,五二〇	
總計	計	一	一三,八四四	二二,五二〇	八九,五〇一	一四,五四三	一四,五二〇	一四,五二〇	一四,五二〇	一四,五二〇	一四,五二〇	一四,五二〇	

備考 一、十二年度經費豫算及購入費ハ六十五分(坂戸ヲ除ク) 一、藏書冊數ハ六十四分(入間、坂戸ヲ除ク) 二、圖書館人員開館日數ハ六十三分(坂戸、毛呂ヲ除ク)

七、縣下各郡市別文庫ニ關スル調査表 (大正十二年四月一日現在)

郡市名	種別	數	藏書冊數	購入金額	大正十二年圖書費	延人員	大正十一年度圖書費	圖書館人員	圖書館平均
北足立	立	一	五,三二四	二,七七二	五八五	二七,三二八	二七,三二八	一,一五八	一,一五八
企間	企	九	一,九五〇	一,二二二	三六二	九,四〇八	九,四〇八	一,〇四五	一,〇四五
父玉	父	八	二,〇四七	一,〇五八	五五八	一,三四〇	一,三四〇	一四九	一四九
里玉	里	一五	二,二六九	一,五一四	四九四	五,八四六	五,八四六	七三二	七三二
琦玉	玉	一六	六,〇五三	三,一五〇	五九一	一〇,四〇八	一〇,四〇八	六九四	六九四
北足立	北	一	三,二九二	二,三九七	八三二	四四,〇九二	四四,〇九二	二,七五六	二,七五六
南足立	南	一	三,四四三	二,三九九	七三三	二〇,二九二	二〇,二九二	一,〇六八	一,〇六八
葛飾	葛	一	四,四一〇	一,七八七	一六五	一〇,六一九	一〇,六一九	九六五	九六五
北足立	北	一	七三八	六五四	二九〇	三,六七二	三,六七二	七三四	七三四
總計	計	一	二,三二一	二,六七	一四七	一,八〇〇	一,八〇〇	一,八〇〇	一,八〇〇

川 越							郡 市 別 數	藏書冊數	購入金額	大正十二年圖書費	延 大正十一年度閱覽人員	一 文庫平均
北 入 比 秩 兒 大 北 南	北 足 立 間 企 父 玉 里 玉 崎 崎											
計		一〇〇	二五、二五七	一〇、九五六	一六〇一	三八、八九七	三八八					
		二	一四二	三五	一五	二九二	一四六					
		三	二一〇	六三	一五	六〇〇	二〇〇					
		二	三五	二三	一五	四〇〇	二〇〇					
		四	二八五	一六六	四一	二四〇四	六〇一					
		一	二五七	一一五	一五	二二〇	二二〇					
		二	八五	二〇	四三	三〇〇	一五〇					
		三	九一	六二	九一	三六三	一一二					

川 越							郡 市 別 數	藏書冊數	購入金額	大正十二年圖書費	延 大正十一年度閱覽人員	一 文庫平均
北 入 比 秩 兒 大 北 南	北 足 立 間 企 父 玉 里 玉 崎 崎											
計		二二	二九、七四七	一七、二一〇	四、七五七	一三四、八一五	一、二二四					
		二	四八四	三〇	一〇	一、八八〇	九四〇					
		〇	二、一三〇	九二四	一一〇	四、三五五	四三五					
		二〇	四、九五九	二、二七八	三三五	六、五〇四	三三五					
		九	三、二三五	九三七	七五	一、六三五	一八一					
		〇	二、七七八	九二九	二〇八	三、七九一	五七九					
		六	一、七九三	一、三六五	二八五	一、六六二	二七七					
		九	一、六〇八	六五八	九〇	六、〇一三	六六八					
		一〇	一、九九二	八〇〇	七二	一、九八七	一九八					
		二四	六、三七八	三、〇三五	四一七	九、〇七〇	三七七					

川北	葛	越飾
計		
一七		
一〇二五		
四八四		
一三五		
四、五七九		
二六九		



13.10. 5

終

